

<p>単元名「みんなの前で話そう」 教材 「すきなことをつたえよう」(教育出版2年上)</p>
<p>児童の実態 本学級の児童は、意欲的に課題に取り組み、自分が考えたことや感じたことを言葉にして伝えようとする姿勢が多く見られるが、自分の思いをうまく表現できない児童もいる。クラス全体に向けて伝えるという「場」の設定については、一年生の「学校のことをつたえあおう」で学習してきている。グループで聞いてきたことを整理してみんなに伝えるという活動だったが、「内容」を考えて話す二年生最初の単元である。「書くこと」については、伝えたい内容をわかりやすく文章にしたり主述の整った文を書いたりすることが苦手な児童もいて個人差が大きい。 本単元では、「すきなこと」「とくいなこと」に焦点を当てて身のまわりの事柄を取り上げ、スピーチをする。その「わけ」について、「楽しい」からだけでなく具体的に考えさせる。友達や家族に聞いたり教師が助言したりして一つだけではなく複数挙げてメモをさせ、順序を考えさせる。そして、メモをもとに話すようにさせたい。繰り返し練習し、次第にメモから離れるよう話し言葉の習熟を図りたい。自信をもって発表に取り組みせたいと考える。また、話し手は、聞き手を意識した姿勢、声の大きさ・速さについても身に付けさせたい。聞き手についても学習することをしっかり意識するようにさせ、話し手の思いに共感しながら聞くようにさせたい。</p>
<p>単元のゴール 自分の好きなことや得意なことを、理由を添えて話すことができる。 ・聞く人にわかるように話したり、聞いたりしている。(関心・意欲・態度) ・みんなに伝わるように、好きなことの内容とその理由がわかるように話している。 (話すこと・聞くこと ア) ・大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞くことができる。 (話すこと・聞くこと エ) ・音節に気をつけて、アクセントによる語の違いなどに注意することができる。 (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)</p>
<p>課題 帰りの会に「きらりの時間」があります。そこで、みんなのよいところを探してスピーチをして伝え合います。「今日のきらりは、〇〇です。そのわけは…です。」の文章で発表ができるようにします。自分や友達のよいところやすごいところを知って、もっと仲よく笑顔いっぱいのクラスにしましょう。</p>
<p>言語活動 〇児童が「書きたい」「やってみたい」と思うような言語活動を設定する。 「すきなこと」「とくいなこと」という話題を明確にし、その「わけ」をいくつか考えて友達に発表する学習である。自分や友達のよいところやすごいところを知って認め合い、感想を伝え合えるようにする。</p>

時間	課題	学習内容	授業後の児童の姿
1	◎得意なことやよくできるようになったことについて、わけを明確にしながらかラスのみんなの前で話す学習であることを知る。	○学習の見通しと学習計画 ・話す内容と方法 ・学習の流れ ・スピーチ例	・わけも話すことで、好きな気持ちや得意なことがより具体的に伝わる ことがわかり、学習に対して興味・関心を高めている。
2	◎「話すまでのじゅんび」の内容を確認し、好きなことや得意なことを書き出す。	○話すまでの準備① ・自分の生活のふり返り ・交流と発表 ・書き加え	・生活のいろいろな場面から自分の好きなことや得意なことを見つけて、書いている。
3	◎好きなことや得意なことの中から話したいことを一つ選び、そのわけも考える。	○話すまでの準備② ・決める観点 ・具体的な「すきなわけ」「得意なわけ」 ・友達や家族からの情報	・話すことを一つに決め、好きなわけ(得意なわけ)をいくつか考えて付箋紙に書いている。
4	◎順序を考えて、話すためのメモを作る。	○話すまでの準備③ ・わけを話す順序 ・想定されるものを例示 ・話すためのメモの作成	・聞いている人がわかりやすいように考えて、順序を決めている。
5	◎メモをもとに話すにはどうすればよいかをわかり、自分のメモから話す言葉を考える。	○話すまでの準備④ ・話す言葉 ・言い始め・順序を示す言葉・わけを話すときの言い方・終わり方	・メモをもとに話すときに使う言葉を考えている。
⑥	◎二人組になってお互いに聞き合いながら、話す練習をする。	○話し方・聞き方・交流の仕方 ・わけを表す言葉 ・共感的に聞く ・感想・アドバイス	・メモをもとに話す聞かときのポイントに気をつけながら、二人組になって話す練習をしている。
7 8	◎みんなの前でスピーチをしたり、聞いたりして、質問や感想を伝え合い、学習をふり返る。	○話すときのポイント ○友達の発表の聞き方	・注意点に気をつけながら、スピーチをしたり友達の話を聞いたりしている。

話す力・聞く力について
 ・声の大きさ、速さ、姿勢、順序を示す言葉 ・大事なことを落とさない、わかったことを態度で示す

本時の目標 話すとき、聞くときの注意を踏まえて、二人組になって練習をしよう

本時の展開

前時の概要	
<p>メモをもとに 話す言葉を考えて 練習しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> メモの言葉をもとに、書き言葉の短い文がどのように話し言葉に変わっているかを、スピーチ文例を見比べて捉えさせる。 言い始め、複数のわけを話すときの順序を示す言葉、わけを話すときの言い方、終わり方などについておさえる。 メモをもとに話す言葉を考えて、話す練習をする。 	
本時の板書計画 (6/8)	
今後の展開	主体的・対話的で深い学びについて
<p>期待する児童の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> 二人組になって何度か練習を重ね、習熟を図る。初めはメモを持っていても、何度か繰り返し練習することで、メモを見ずに自信をもって発表できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流を通して、相手を変えて練習を重ね、話し方に習熟できるようにする。そのとき、共感的に聞くようにさせ、わかったことを伝えたり感想やアドバイスを伝えたりするようにする。

学習活動	学習内容	指導上の留意点
1 本時の活動の確認をする。		
2 本時の課題を把握する。		
メモをもとに 話す練習をして、名人を目指そう！		
3 話すとき、聞くときのポイントを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○練習の仕方 ○話すとき、聞くときのポイント 	<ul style="list-style-type: none"> メモをもとに、わけを表す言葉や順序を表す言葉を使った例文を示す。話し方名人・聞き方名人になるポイントを話し合わせる。
4 二人組になって聞き合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○交流の仕方 ○聞き手を意識した話し方 ・アドバイスの観点 ・感想・アドバイスの言い方 	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手には共感的に聞くようにさせ、「何が好きか(得意か)」「そのわけ」などわかったことを話し手に伝える。また、話し方のよかった点・アドバイスも伝える。
5 お互いのよかった点等伝え、発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ○よかった点を共有 ・話し方 ・聞き方 ○自分の発表の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 助言されたことをメモに記入させ、次に話すときに改善できるようにさせる。
6 伝え合ったことをもとにメンバーを変えて練習する。	○メモを見ずに話せるように練習	<ul style="list-style-type: none"> 好きなことや得意なことに関連した事物をできる範囲で用意する。その事物を示したり操作したりしながら身振り手振りを加えて話したりして、話をわかりやすくする伝える工夫を考えさせる。
7 本時のまとめとふり返りをする。		
名人になるには・わけを表す言葉や順序を表す言葉を使って話し、声の大きさや速さ・姿勢などに気をつけてスピーチしたり聞いたりする。		
	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習の確認 ○ふり返りを書く 	<ul style="list-style-type: none"> 聞く人がよくわかるようにわけを表す言葉を使って伝えることができたか。 友達の話を大事なことを落とさずに聞くことができたか。 次時は、全員の前で一人ずつ発表することを伝える。
8 次時の課題を把握する。		